

第1章 計画策定にあたって

第1章 計画策定にあたって

1 計画策定の目的・背景

超高齢社会を迎えている今、市民誰もが、より長く、元気に活躍できる社会を望んでいます。

健康寿命*延伸の実現には、疾病や障害の早期発見や治療だけではなく、生活習慣を改善することにより、健康の増進を図り、生活習慣病*を予防することが重要となっています。そのためには、市民一人一人に「自分の健康は自分で守り、つくる」という意識を強く持ってもらうとともに、市民を取り巻く生活環境をより良くすることが必要です。

国は、健康増進法により平成24年7月に「国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針」を示し、平成25年度から10年間の基本方針として「21世紀における第2次国民健康づくり運動（健康日本21（第2次）」を推進しています。

埼玉県は、国の基本方針を勘案し、「埼玉県健康長寿計画（第2次）」に引き続き、平成31年度から令和5年度までの5年間を計画期間とする「埼玉県健康長寿計画（第3次）」を策定しました。

本市においては、平成26年度に10年間の基本方針として「健康熊谷21」を定め、基本方針の実現のため「熊谷市第2次健康増進計画」を、続いて「熊谷市第3次健康増進計画」を策定し、目標設定のもと市民の健康づくりを推進してきましたが、令和元年度に第3次の計画が終了することから、令和2年度から令和5年度までの4年間を計画期間とした「熊谷市第4次健康増進計画」を策定するものです。この計画に基づき、市民が生涯にわたり健康で安全・安心に暮らせるよう、本市の各施策を健康づくりの観点から体系化し、市民の健康づくりを支援していきます。

2 計画の性格と位置づけ

「熊谷市第4次健康増進計画」は、健康増進法第8条第2項に規定する市町村健康増進計画として策定するものです。本計画には、食育基本法第18条に基づく「熊谷市食育推進計画」及び熊谷市市民の歯と口の健康づくりを推進する条例第8条に基づく「熊谷市歯科口腔保健推進計画」を盛り込みました。

また、第2次熊谷市総合振興計画、熊谷市自殺対策計画、熊谷市スポーツ推進計画、熊谷市国民健康保険保健事業実施計画（第2期データヘルス計画・第3期特定健康診

第2章 本市の現状

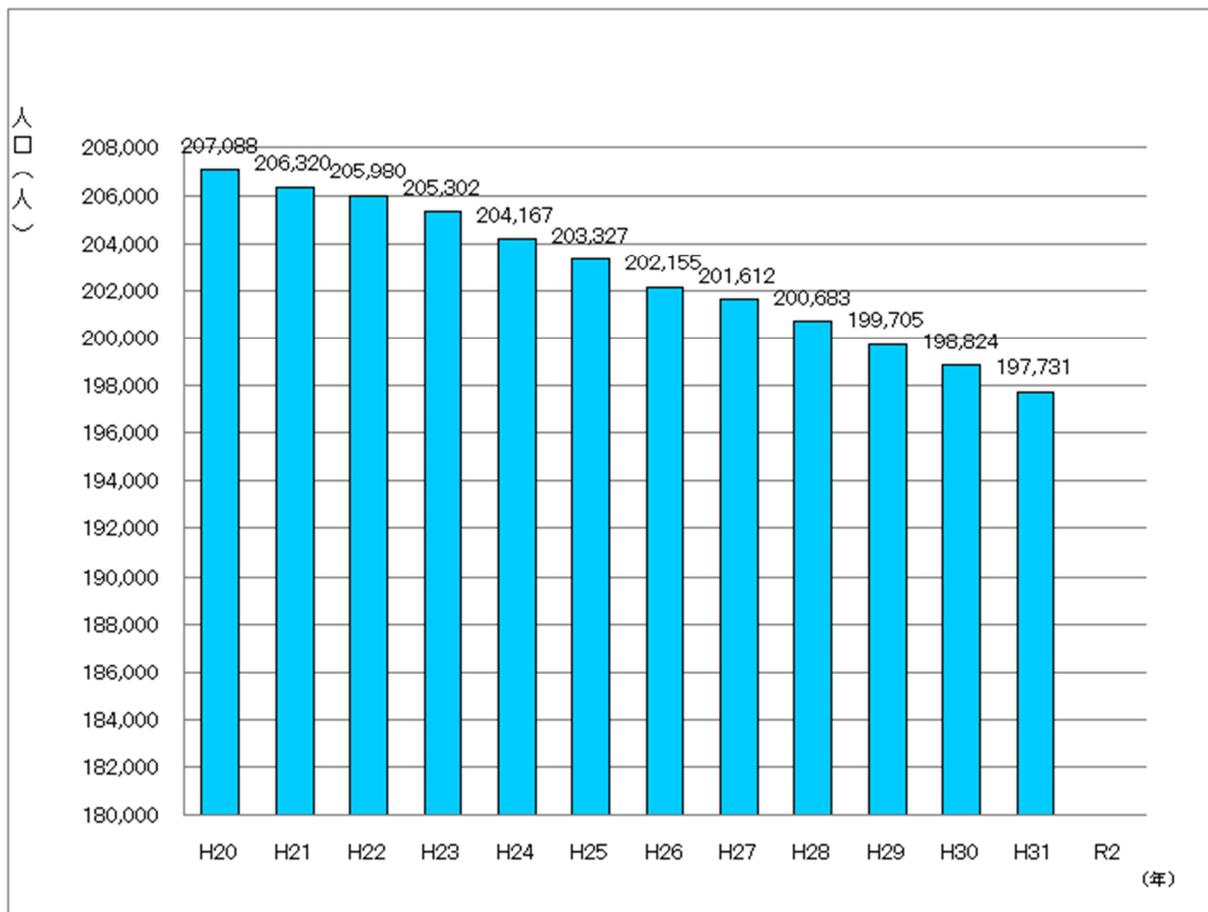
第2章 本市の現状

1 人口の推移

本市の人口は、年々減少しており、平成31年1月1日現在197,731人です。平成20年と比較すると9,357人（4.51%）減少しています。

本市の住民基本台帳人口に基づく将来人口推計においても、その減少傾向は続いています。

熊谷市の人口の推移

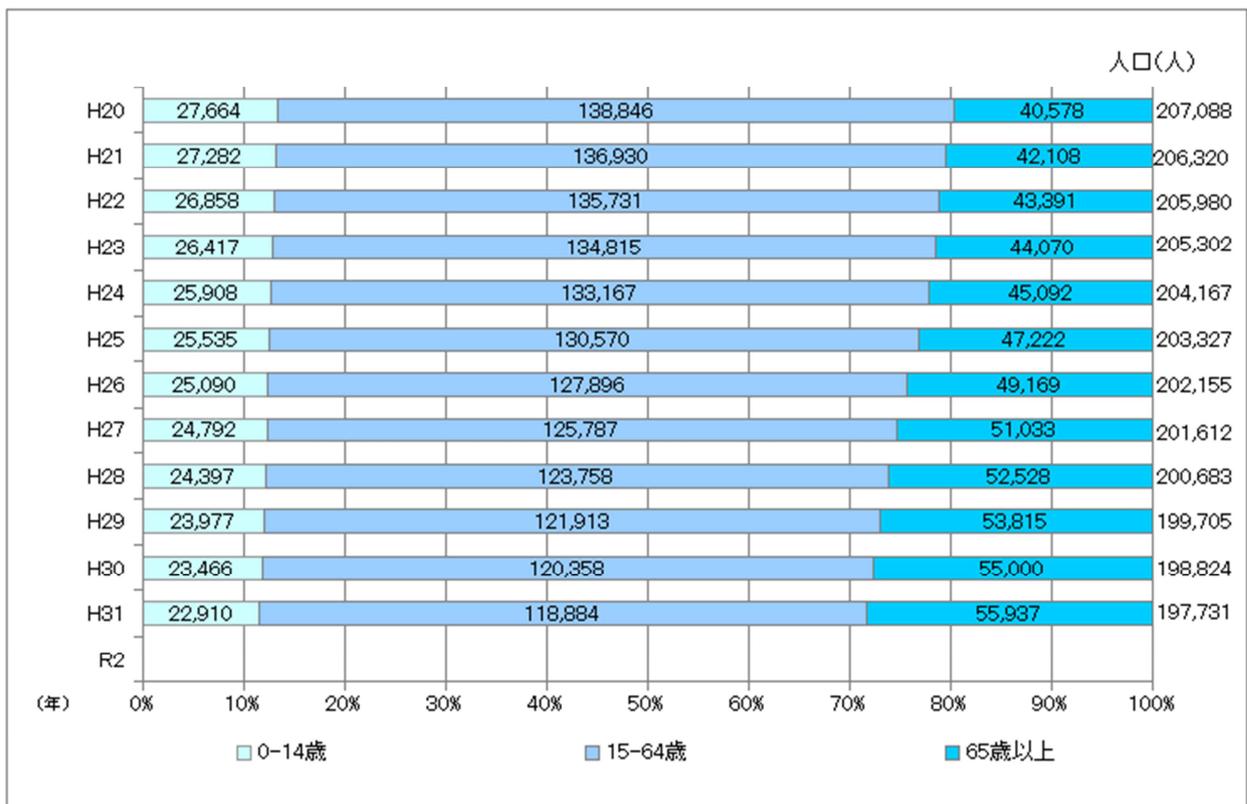


熊谷市人口統計 各年1月1日現在

2 年齢階層別人口構成の推移

本市の人口構成をみると、平成31年の65歳以上の人口は55,937人です。人口割合では65歳以上が28.28%で、平成20年の19.59%と比較して8.69ポイント増加してします。少子高齢化社会の中で、今後も65歳以上の人口増加が予想されます。

年齢階層別人口構成の推移

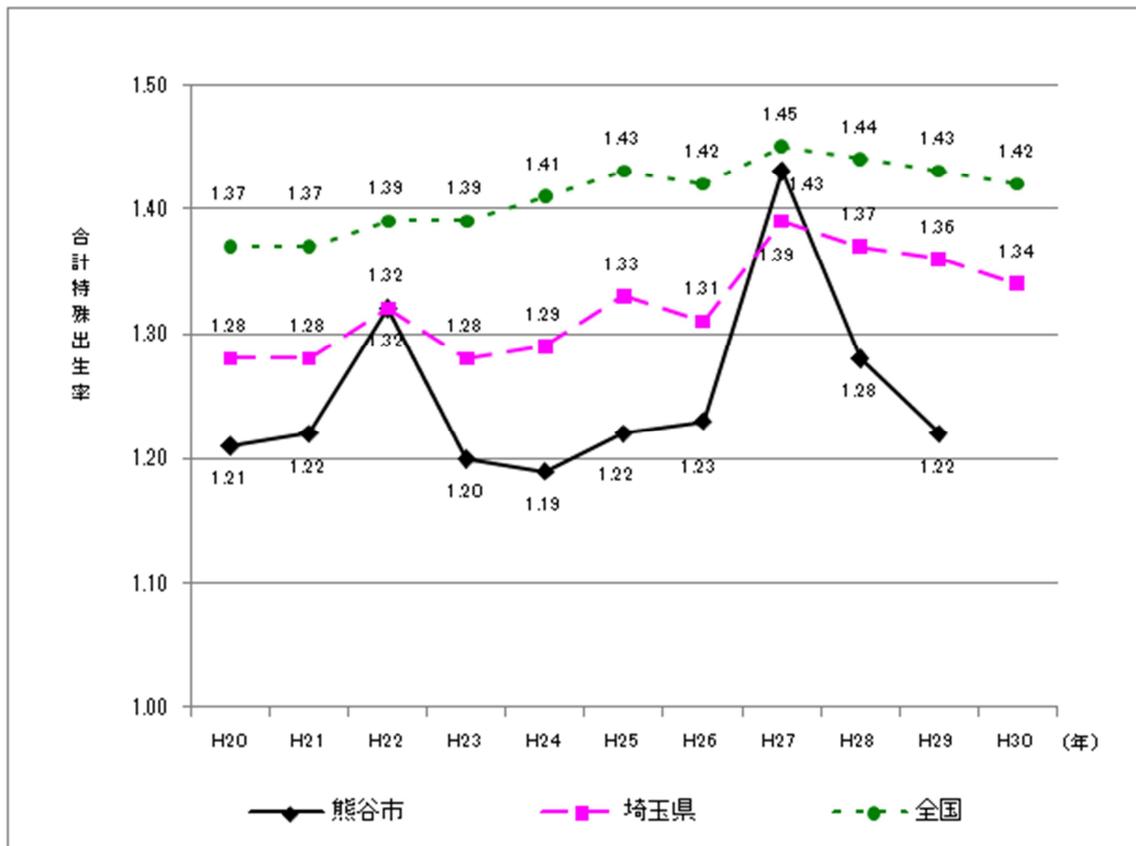


熊谷市人口統計 各年1月1日現在

3 合計特殊出生率*の推移

本市の平成29年の合計特殊出生率は、1.22です。平成22年は埼玉県と同率、平成27年は埼玉県を上回りましたが、そのほかの年では全国及び埼玉県の合計特殊出生率を下回っています。

合計特殊出生率の推移



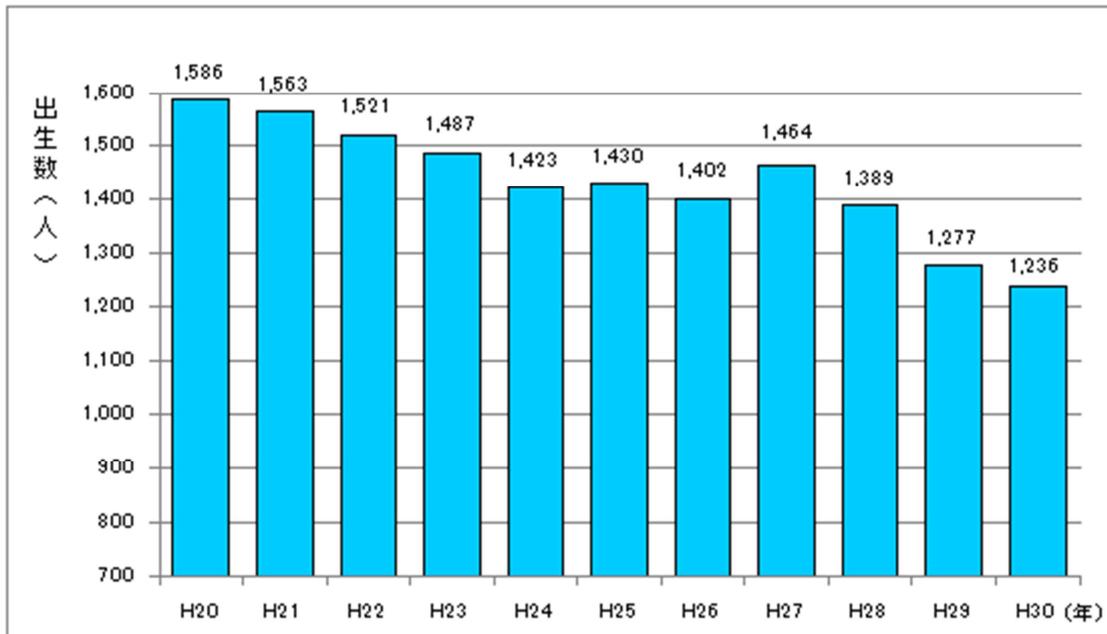
埼玉県：人口動態概況

4 出生数の推移

本市の出生数は減少傾向にあり、平成30年は1,236人です。

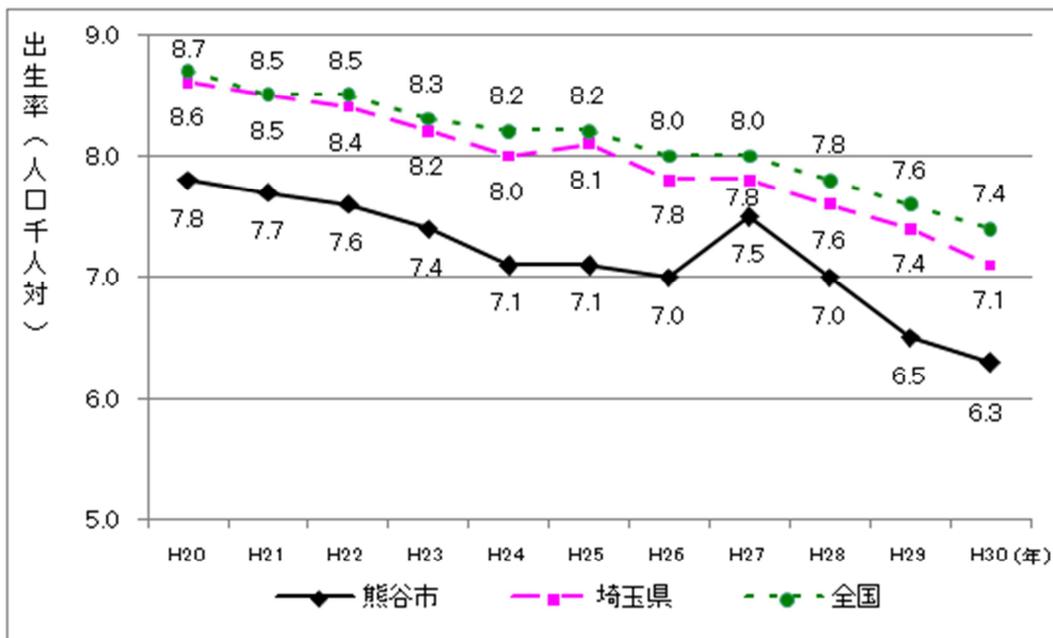
人口1,000人に対しての出生率は全国及び埼玉県と比較して低く、平成30年は6.3です。

出生数の推移



埼玉県：人口動態概況

人口1,000人当たりの出生率の推移



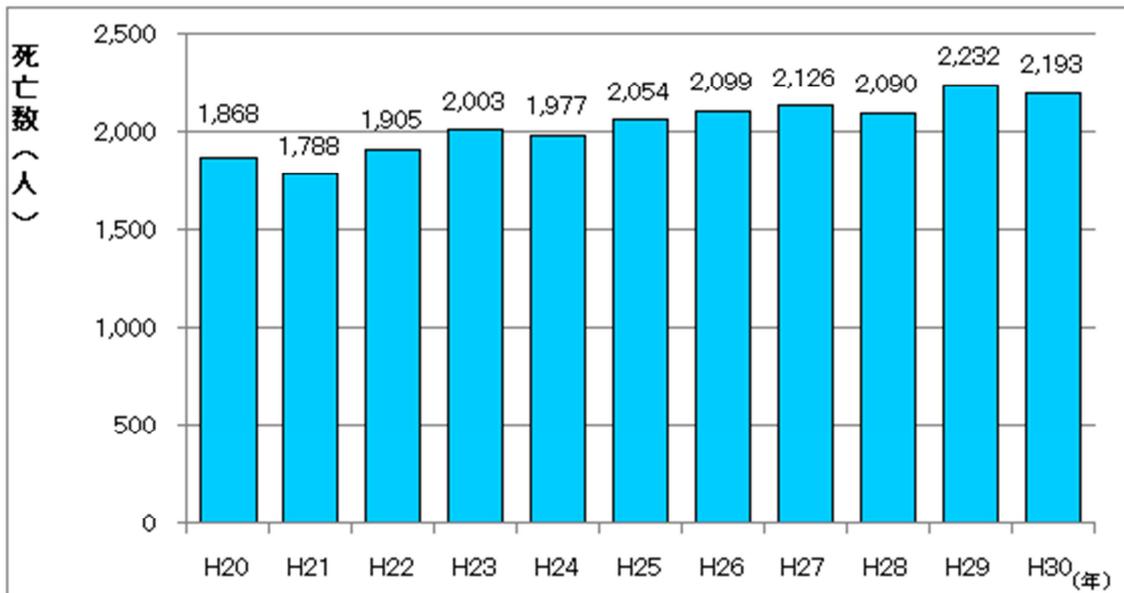
埼玉県：人口動態概況

5 死亡数の推移

本市の死亡数は増加傾向にあり、平成30年は2,193人です。

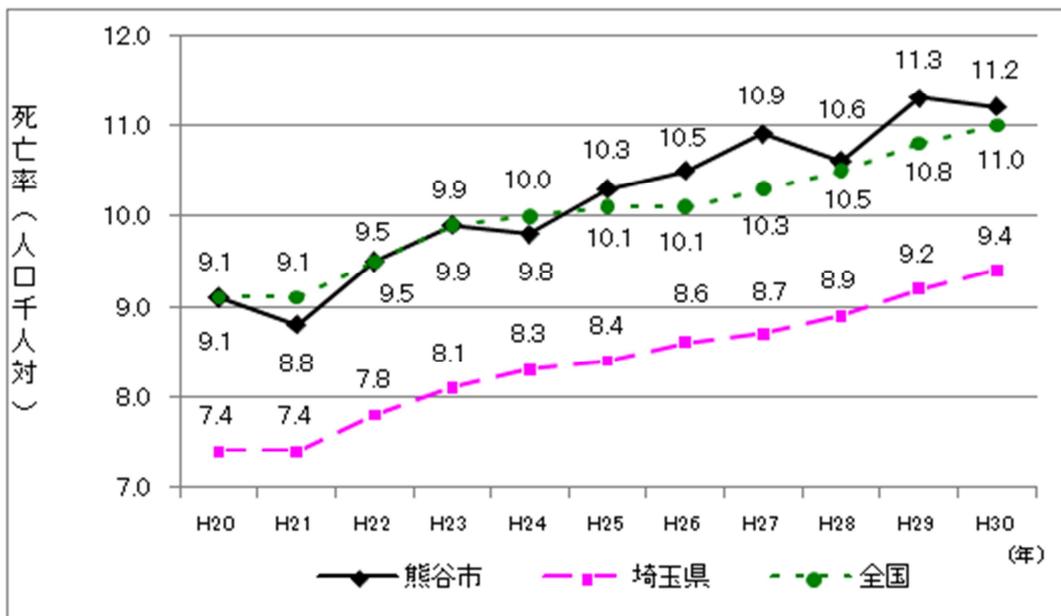
人口1,000人に対しての死亡率は全国及び埼玉県と比較して高く、平成30年は11.2です。

死亡数の推移



埼玉県：人口動態概況

人口1,000人当たりの死亡率の推移



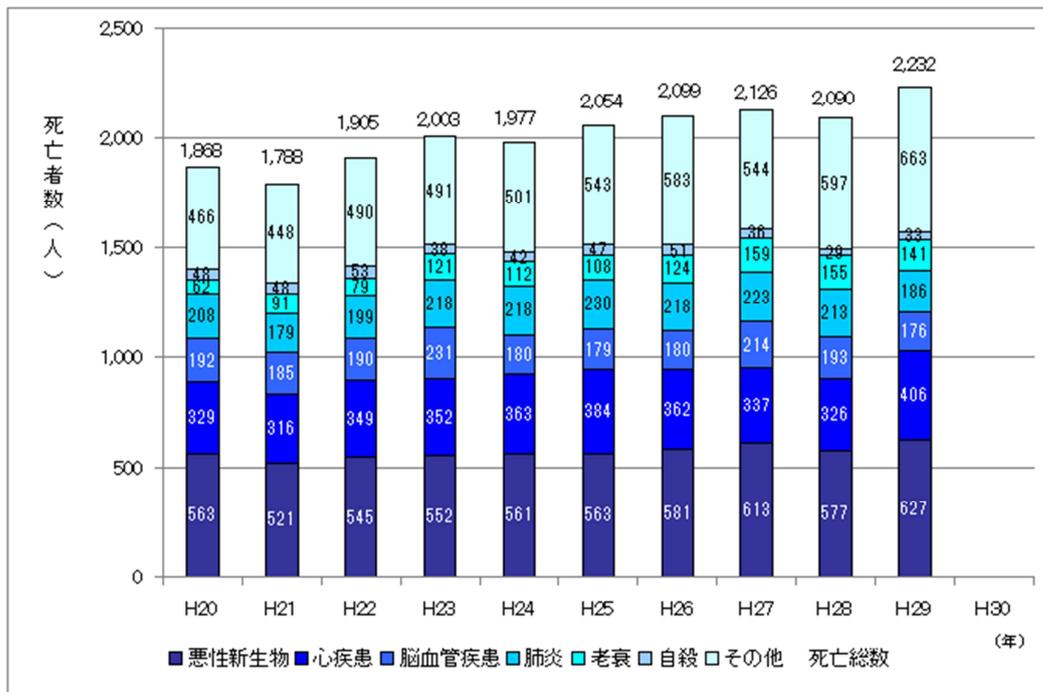
埼玉県：人口動態概況

6 死因に関する状況

本市の死因別死亡数は、悪性新生物*（がん）によるものが最も多く、心疾患、肺炎、脳血管疾患*が上位を占めています。

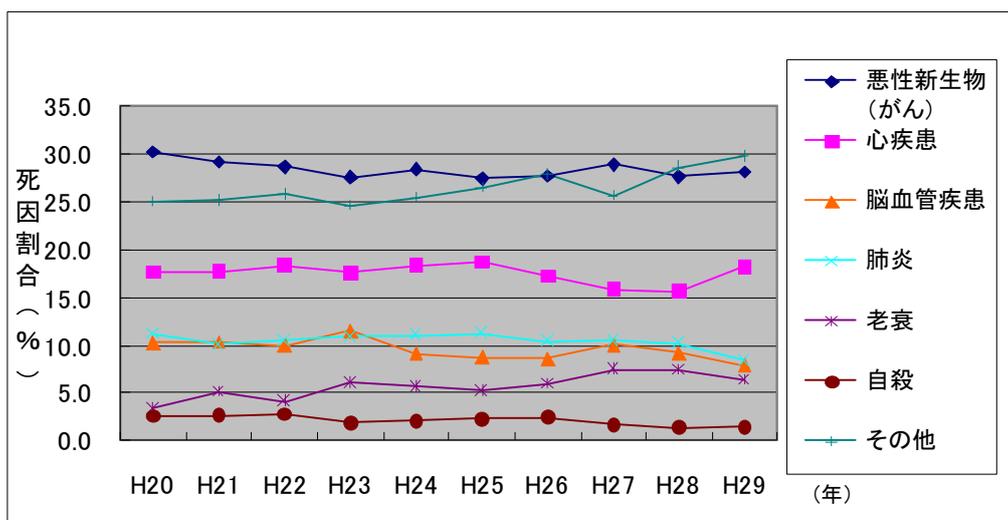
死因別死亡割合は、各死因ともほぼ同じ割合で推移しています。

死因別死亡数の推移



埼玉県：人口動態概況

死因別死亡割合の推移



埼玉県：人口動態概況

※ 死因は、死因順位に用いる分類項目によるものです。

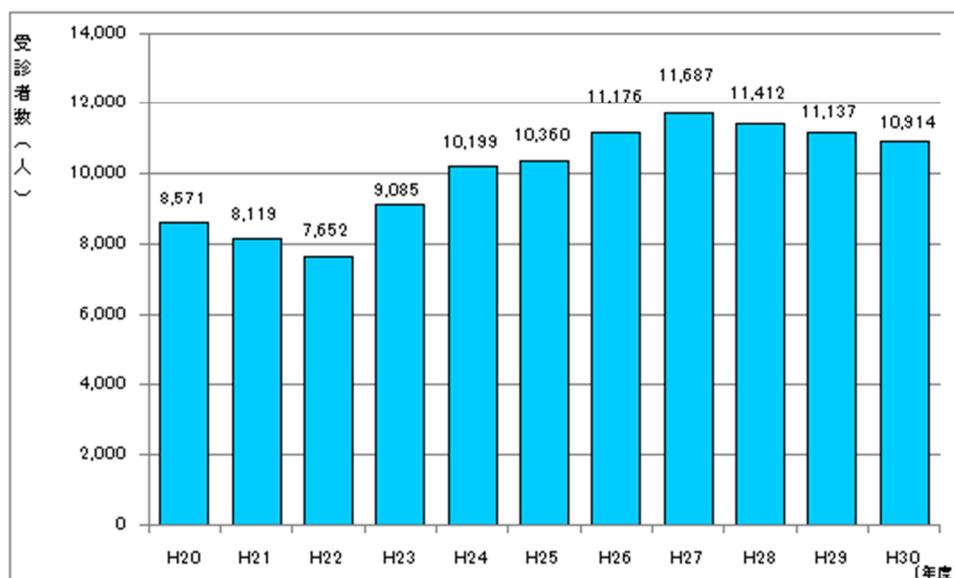
7 特定健康診査*の受診状況

特定健康診査は、40歳から74歳までの被保険者を対象としています。

熊谷市国民健康保険加入者の特定健康診査受診者数は、平成23年度から27年度まで少しずつ増加していましたが、28年度からは減少しています。

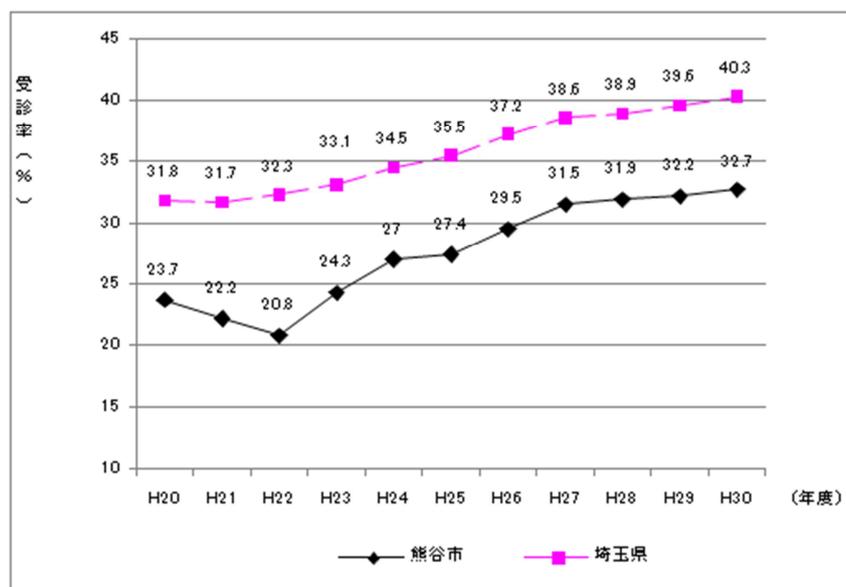
受診率については、平成23年度から増加していますが、近年は伸び率が小さくなっています。また、埼玉県と比較すると低くなっています。

特定健康診査の受診者数の推移



保険年金課（熊谷市国民健康保険加入者）

特定健康診査の受診率の推移



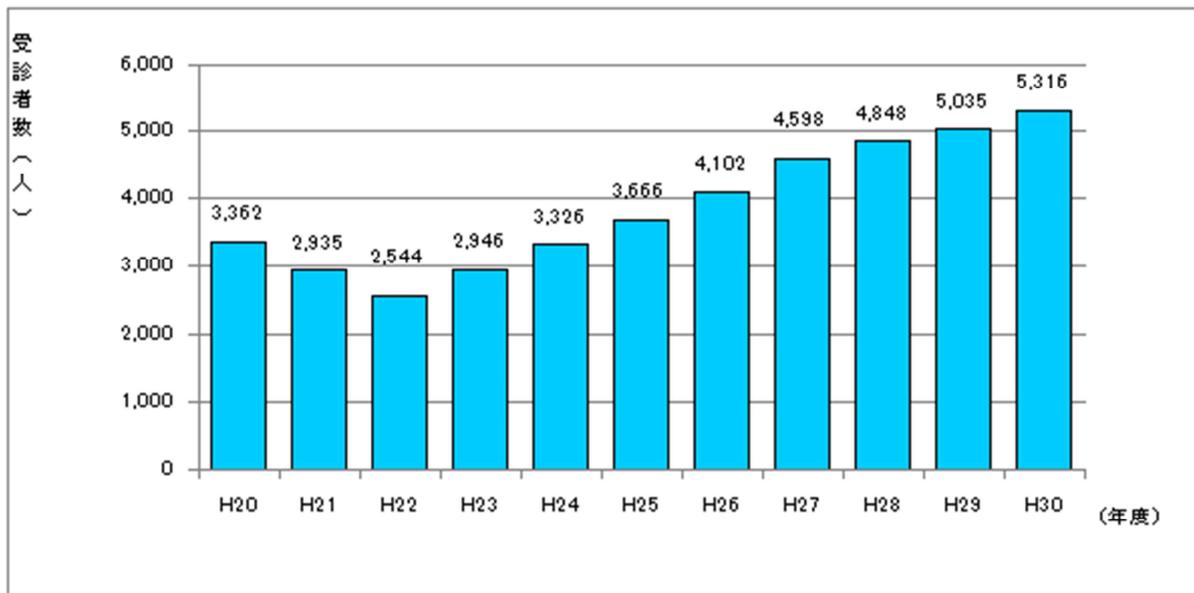
保険年金課（熊谷市国民健康保険加入者）

8 長寿健康診査の受診状況

本市の長寿健康診査は、75歳以上の後期高齢者医療制度に加入している被保険者（65歳以上で一定の障害があると認定を受けて加入している人を含む。）を対象としています。

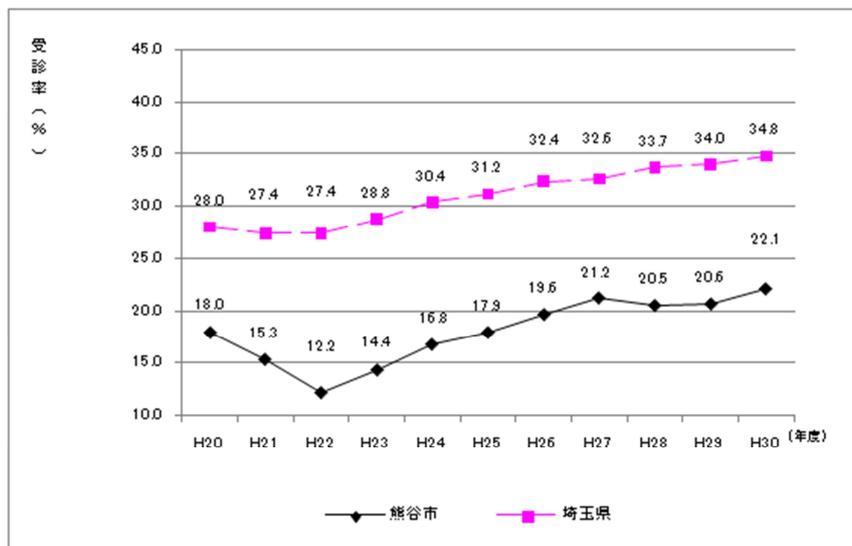
長寿健康診査の受診率は、平成23年度からは上昇傾向にあります。埼玉県と比較すると低い状況です。

長寿健康診査の受診者数の推移



保険年金課

長寿健康診査の受診率の推移



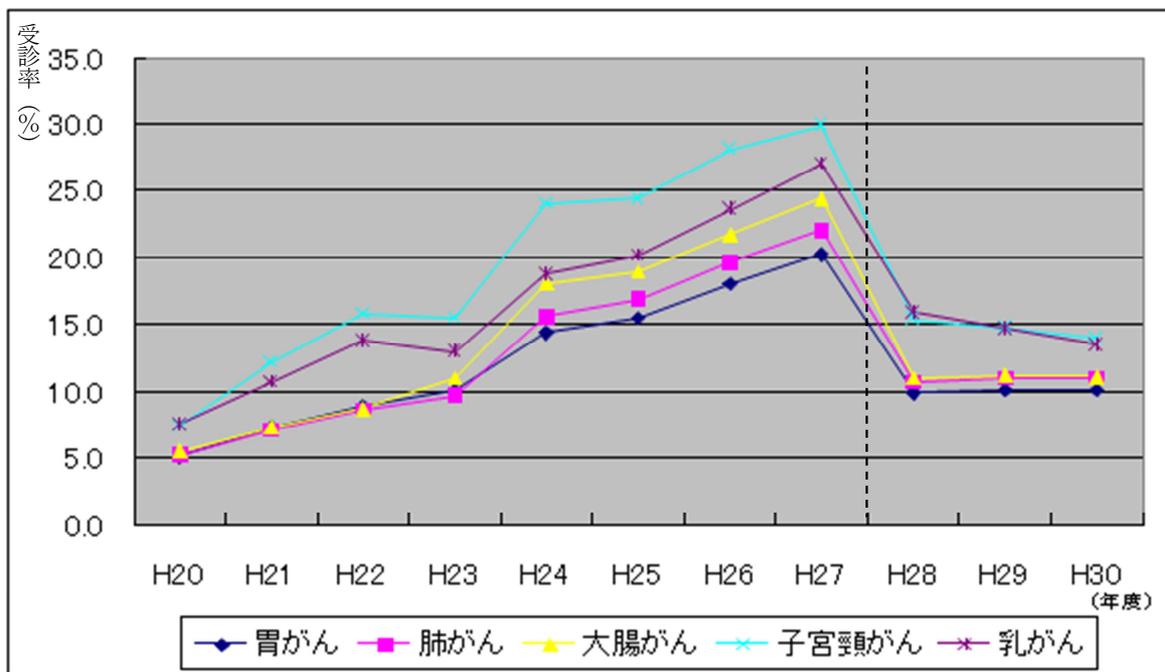
保険年金課

9 がん検診受診率の推移

本市のがん検診は、職場等で受診機会のない40歳以上の市民（胃がん検診は50歳以上、子宮頸がん検診は20歳以上の女性）を対象としています。

受診率は、受診率の基礎となるがん検診対象者数の算定方法の変更に伴い、グラフ上で変動がみられますが、いずれの検診も平成28年度以降は、概ね10%から16%の間で推移しています。

受診率の推移



熊谷保健センター

※ 平成24年度から、受診率の基礎となるがん検診対象者数の算定方法が変更されました。

※ 平成27年度まで、「国勢調査報告」による対象年齢の市町村人口－対象年齢の就業者数＋対象年齢の農林水産業従事者数

※ 平成28年度から、「熊谷市人口統計」による対象年齢の全住民

受診者数の推移

	(人)											
	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	(年度)
胃がん	3,372	4,879	6,020	6,891	8,412	9,068	10,542	11,805	12,081	12,360	12,431	
肺がん	3,797	5,246	6,423	7,332	9,121	9,875	11,477	12,892	13,065	13,506	13,564	
大腸がん	4,112	5,576	6,732	8,537	10,527	11,057	12,700	14,301	13,520	13,762	13,689	
子宮頸がん	3,195	5,114	5,549	5,167	5,981	5,506	7,532	6,695	6,745	5,832	5,933	
乳がん	1,766	3,474	3,258	3,260	3,876	3,807	4,948	5,475	5,061	4,363	4,345	

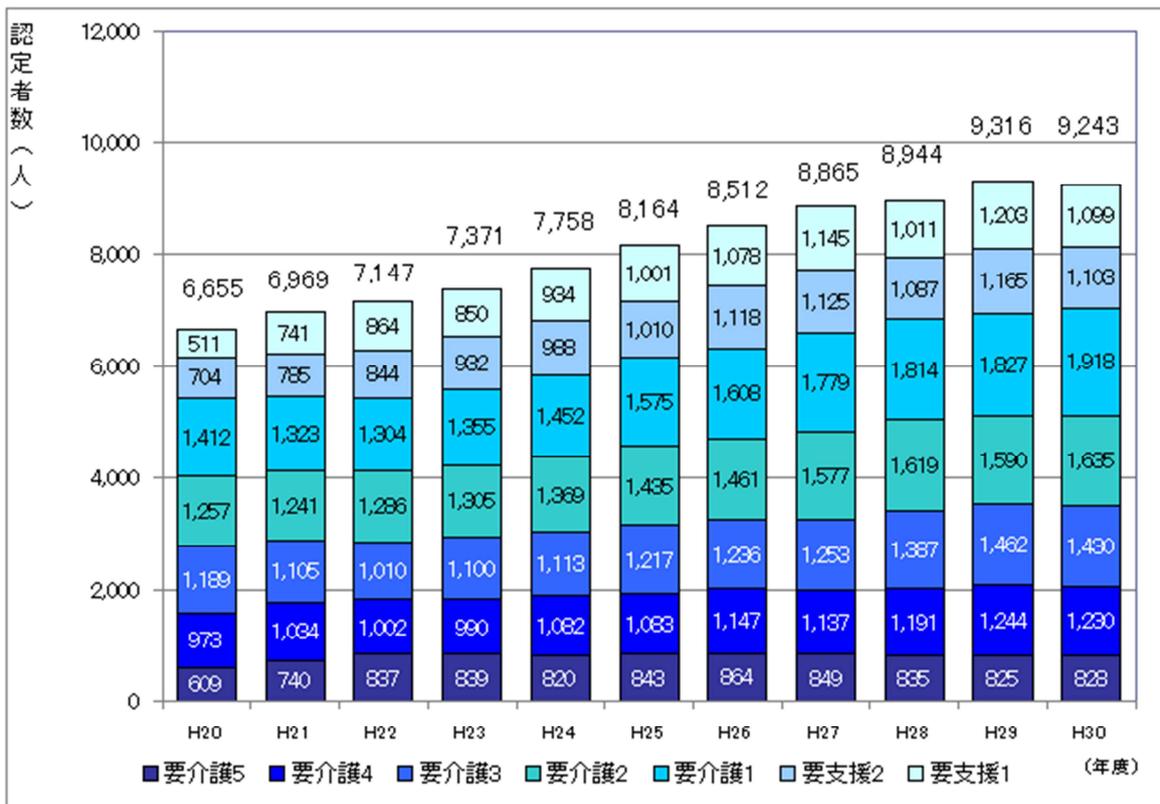
熊谷保健センター

10 介護保険の認定者の状況

65歳以上の人口の増加とともに、要支援・要介護認定者数は上昇傾向で推移し、平成30年度は9,243人で65歳以上の人口の16.5%を占めています。

認定者の中で、要支援1、要支援2、要介護1の比較的軽い介護度の割合が44.5%と半数近くを占めています。

要介護認定者数の内訳



介護保険事業状況報告 各年3月末現在

第3章

計画の基本的な考え方

第3章 計画の基本的な考え方

1 健康づくりで目指すもの

- ① 全ての人と共に支え合い、健康で幸せに暮らせる環境を整備します。
- ② 疾患のある人も、介護を要する人も、それぞれに満足できる人生を送ることができる社会を目指します。
- ③ 健康で自立した生活が長く続けられる環境を整備します。
- ④ 健康寿命を延ばし、高齢者が生きがいを持てる社会を目指します。
- ⑤ 社会環境の改善を図り、健康格差の縮小を目指します。

2 基本理念及び基本目標

基本理念

市民一人一人が行う健康づくりを、地域社会で支援することにより

『健康で安全・安心に暮らせるまち くまがや』

を目指します。

基本目標

基本理念を実現するために次の基本目標を掲げ、目標達成のための施策の推進を図ります。

- ① 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底
- ② 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口の健康に関する生活習慣の改善
- ③ 社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上
- ④ 社会環境の整備